

タカラスタンダードが本社応接フロアをリニューアル

ホーロー壁装材「エマウォール」を活用した新たなオフィス空間をイメージ

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪府城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、本社の応接フロアをリニューアルしましたのでお知らせいたします。全ての部屋にさまざまなタイプのホーロー壁装材「エマウォール」を使用し、ご来社の皆さまに当社独自の「高品位ホーロー」を体感していただくとともに、オフィスでの使用をイメージしていただくショールームのような役割も担います。



「エマウォール インテリアタイプ」はこれまで当社がシステムキッチンのパネルなどに使用していた「高品位ホーロー」に、ユーザーの希望のデザインをインクジェット印刷できる内装材です。社長の渡辺がヨーロッパで確立されたセラミックへのインクジェット印刷技術に着目したのをきっかけに、数年がかりで開発が行われました。鮮明な色彩と類い稀な強度を兼ねそなえ、デザイン性、施工性にも優れた次世代の壁装材です。

また、2016年4月に専用の営業部門を関東に設置したことをきっかけに採用実績を伸ばし、企業のオフィス向けとしても高い評価を得ており、水回りで使われるキッチンパネルなども合わせると、2018年度は53億円と順調に売り上げを伸ばしています。

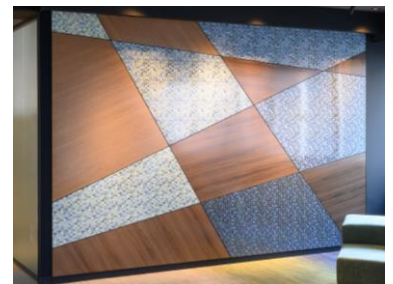
そしてこの度、本社の応接フロアを全面改装し、高級感のある部屋、カジュアルな部屋など、それぞれの応接室ごとに雰囲気の違い「エマウォール」を設置。お越しいただいた皆さまに、「高品位ホーロー」の新たな可能性を感じていただけるフロアに生まれ変わりました。

一部の部屋に備えている、ホワイトボードとして打ち合わせにも利用できる無地の「エマウォール」は、企業や学校、病院などでもご採用が増えている商品です。汚れや菌によるにおいがつかないのでお手入れが簡単で安心な素材であるだけでなく、表面の特殊加工によりハレーション（照返し）を抑え、映写性も高いので、講義やプレゼンテーションの際にはスクリーンとしても使用できます。

また、これまででは長方形や正方形といった決まった形でしか組み合わせられなかった「エマウォール」を、不規則な形にして組み合わせたデザインのパネルとして待合室に試験的に採用しました。カラフルなモザイク柄に木目柄を併せることで、斬新ながらもインテリアにマッチする壁面が実現しました。

そして、エントランスの壁面では、「エマウォール」と他素材のパネルを組み合わせました。ホーローをパーツとして組み込み、木目と石目柄で温かみがありながらも高級感を感じる壁面で、新たなエマウォールの可能性をご提案します。

タカラスタンダードはこれからも独自の「高品位ホーロー」を通してさまざまな提案を行い、皆さまの暮らしを豊かにしてまいります。



<参考資料：応接フロア詳細>

【所在地】 大阪府大阪市城東区鳴野東 1-2-1 タカラスタンダード株式会社 本社本館 3 階

【広 さ】 約 300 m²

【デザイン・監修】 color and material design aroy アロイ 北川めぐみ

●エントランス

パネル同士を突き合わせて設置する「エマウォール」ベントタイプは、ぼつりとした継ぎ目
が特徴。その柔らかさを生かして他素材のパネルと組み合わせることで、無限大の楽しみ方を
提案できる壁面です。



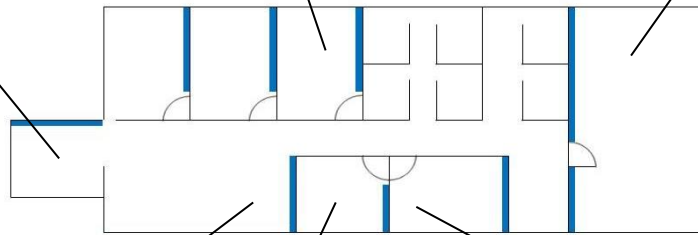
●応接室

落ち着いた木目柄の「エマウォール」を組み合わせることで、高級感のある空間を演出。高さ
の低いソファなどのインテリアと合わせることで重厚感のある応接室となっています。



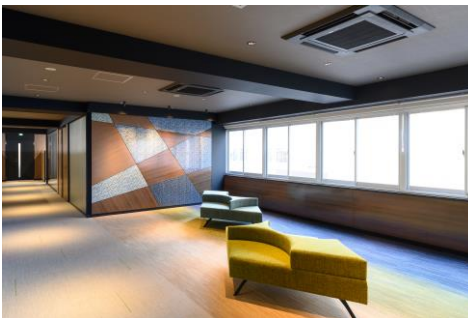
●会議スペース

大人数での会議が可能な会議スペースには、ホ
ワイトボードやスクリーンとしても使える白
地のエマウォールを設置しました。映写しなが
ら同時に書き消しも可能です。



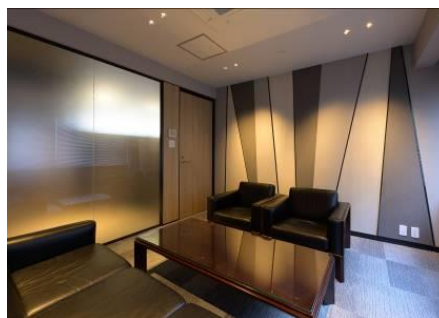
●待合スペース

三種類の木目柄とグラデーションになっている
6種類のモザイク柄の「エマウォール」を使
用。床と合わせて空間をトータルコーディネート
しています。



●応接室

「エマウォール」とクロスを組み合わせる
ことで、カジュアルな雰囲気のある応接室。不
規則な形による組み合わせは「エマウォール」
の新たな可能性を広げています。



●応接室

左右の「エマウォール」に傾斜をつけ、立体
感のある壁面の真ん中にモニターを設置しま
した。打ち合わせに最適なスペースになっ
ています。



<タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日（創業107年） / 売上高（連結）1,932億円（2018年度） / 従業員数（連結）6,186名]